

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2022年10月28日

送信先: report@r-ict-advisor.jp

派遣決定番号

報告回次 1日目

令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	紀北町	代表者名	尾上 壽一
担当者部署	企画課	連絡先電話番号	0597-46-3113
担当者役職	主任	担当者氏名	植村 和将
		連絡先E-mail	
住所	519-3292 三重県紀北町紀北町東長島769番地1		

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	高橋 邦夫
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	「DX化をやりましょう」というよりは「今後はやらないといけない」といったやや厳しめの内容でありながら、なぜやらないといけないのかという理由がとても具体的で納得できる内容であったことや、ご自身の区役所職員時代のご経験をたくさん踏まえたお話であったため、自分たちでもちゃんとできるのだと感ずることができ、研修後の参加者の反応を見ても庁内の機運は高まったと考えております。
アドバイザーへの要望事項	お話が盛り上がり時間が足りなくなり、最後が駆け足になってしまったのが非常にもったいなかったです。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	2022年8月22日	講演（実地）	有	2022年8月15日	205
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和4年9月2日	講演（実地）	10時30分	17時00分	60
				活動時間（分）	330
3-2. 派遣場所	会場名	紀北町役場本庁	最寄駅	紀伊長島駅	
	所在地	紀北町東長島769番地1	最寄駅からの交通手段	徒歩（5分）	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

掲載許可 掲載可

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	主幹以下の事務職員	103人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	DX担当となる企画課とそれ以外の部署ではデジタル化への意識に大きな開きがある。今年度からデジタル化担当部署が新設されDX化を迅速に進めていこうと取り組んでいる中、このままの状態では取り組みを進めていっても各課の協力が得られにくく難航することが予想される。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	DX化の必要性や、DX化がもたらすメリットを役場の全職員が共有することで、全庁的なDX化を滞りなく進めることができる。ひいては、職員が自ら業務改善などに積極的に取り組んでいく職場の雰囲気を作る。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	「機運の醸成」を目的に、DXで自治体の仕事の仕方が変わるという内容でのご講演をいただきました。	

支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	支援をいただいた後、本格的に各種申請のオンライン化について取り組みを始めました。それ以前にも取り組みやすそうな手続きがある部署にオンライン化について声をかけていましたが、「やるが増える」「難しそう」をいった後ろ向きな反応が最初に出ていました。それが、支援後はそういった反応は明らかに少なくなりました。そして取り組みを始めて1ヶ月と経たずに最初のオンライン申請をスタートすることができました。また、続けて他の手続きのオンライン化も順次進めています、どの部署も概ね協力的に取り組んでくれています。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑤組織業務改善ができた びったりサービスを利用したオンライン申請手続きの速やかな開始
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	各部署概ね協力的になってきたものの、「やらないといけないみたいだからやる」という理由で取り組みを進めている部署が見られます。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 単純にアンケートを取っておりませんでした。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	DX化・デジタル化の取り組みが当課主導ではなく各課から活発に声が上がるとような職場の空気を作ることが今回の事業における最終的な姿だと考えております。	

未記入のセルがあります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認下さい。
なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

1-1.

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

紀北町DX推進体制稼働に伴う
キックオフ研修会



「DXで変える・変わる
自治体の新しい仕事の仕方」

2022年9月2日

KUコンサルティング 代表社員
(総務省地域情報化アドバイザー
総務省テレワークマネージャー
文部科学省ICT活用アドバイザー)
高橋 邦夫



